

基本情報						
教科・科目	国語科・国語	・授業で使用するもの				
担当者	上岡谷 美結 大出 恭史	教科書「伝え合う言葉中学国語 1」（教育出版） 3アプローチ 字義で覚える常用漢字（浜島書店） ジャパンナレッジスクール				
評価割合（試験：試験外）	試験:5 0 % 試験外:5 0 %					
年間を通じて教科で培う力	鍛錬（知識及び技能）	言語に関する知識を日常生活の中で活用し、表現できるようになる。また、日本の伝統を継承する意義を実感し、言語表現の幅を広げる。				
	理知（思考力・判断力・表現力等）	自分と他者、事実と意見、賛同と反対など多様な視点や観点を意識しながら、文章における読解力を高める。またそれらを通じて他者へ自身の理解を伝える力を磨く。				
	探究・叡智（主体的に学習に取り組む態度）	日常生活や他教科との関連から疑問点を発見するなど、学習に対する積極的な姿勢を養う。				
学習情報						
月	回	単元名	単元目標（到達状態）	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4		学びをひらく ・ふしぎ ・聞くということ ・お気に入りの一品を紹介する。 ・桜蝶	●『ふしぎ』の魅力や面白さについて考事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ●言葉をとおして自分と相手を理解する。 ●伝えたいことを明確にして、お気に入りの一品を紹介する。 ●行動や心情を表す言葉を文脈に注意して読む。 ●文学作品の構成や展開、人物の関係を描写から捉える。 ●文章・段落・文・文節・単語という言葉の単位について理解する。 ●意見と根拠などの関係について理解する。 ●文章の中心的な部分や付加的な部分、事実と意見との関係を捉え、要旨を把握する。	●『ふしぎ』を通して、当たり前のことを疑問視する多角的な視点をもつ。 ●文章を読んで、これからの中学校生活で伝えたいこと、聞きたいことをまとめ、共有、交流する。 ●思いを効果的に伝えるための工夫を考え、ペアやグループで紹介し合う。 ●どのように心情が変化しているのか、どのような心情の変化が話を展開させているのかを読み取る。 ●P 30『文法の小窓 1』を読んで内容を確認したあと、P 278～280『言葉の単位』を読み、「やってみよう」に取り組む。 ●粘り強く文章の要旨を把握し、学習課題にそって筆者の考えをまとめる。	・講義 ・グループワーク ・発表 ・ワークシート	・発表内容 ・ノートやワークシート等の記入内容や状態 ・定期テスト ・小テスト（漢字等）
	5	文法の小窓 1 言葉の単位 論理を知る ・自分の脳を知っていますか				
6 定期試験①（令和8年 6月3日-6月5日）						
6		論理を知る ・資料をもとに紹介文を書く 漢字の広場 1 漢字の部首 言葉の小窓 1 日本語の音声	●書く内容の中心が明確になるように、段落の役割を意識して文章の構成や展開を考える。 ●漢字の部首についての理解を深める。 ●日本語の音の特徴を理解する。 ●本や文章から必要な知識や情報を集めたり、それらを活用したりするための方法を身につける。 ●文章や映像などに表されている情報と情報の関係を捉える。 ●画数と活字の字体についての理解を深める。 ●目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を集めて整理し、伝えたいことを明確にする。	●書いたものを交流し、資料の読み取りや構成の工夫について確認し合う。 ●「部首」について理解し、「練習」によって理解の確認を行う。 ●P 50『言葉の小窓 1』を読み、内容を確認したあと、P 266～267『日本語の音声』を読み、内容を整理する。 ●本文を読み、「ベンチ」の表す状況を捉えて、自分なりの課題をもつ。 ●本文を読み、内容を理解する。『写真で「事実」を表現する』を読み、P 69～71の課題に取り組む。 ●「画数と活字の字体」について理解し、「練習」によって理解の確認を行う。 ●「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解し、誰に何を案内するのかを考え、必要な情報を集めて整理する。その後、相手や目的を意識しながら案内文を書く。	・講義 ・グループワーク ・発表 ・ワークシート	・発表内容 ・ノートやワークシート等の記入内容や状態 ・定期テスト ・小テスト（漢字等）
	7	話す聞く 構成を考えて話す ベンチ 全ては編集されている／写真で「事実」を表現する 漢字の広場 2 画数と活字の字体				
7 定期試験②（令和8年 7月15日-7月17日）						
8 外部コンクールへの応募作品の創作						
9		持続可能な未来を創るために――一人の暮らし方を考える／「エシカル」に生きよう 森には魔法つかいがある 文法の小窓 2 文の成分 根拠を明確にして意見文を書く 広告の情報を考える	●持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する。 ●文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして考える。 ●主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。 ●意見と根拠など、情報と情報との関係を理解する。 ●広告を作る要素を整理し、広告を見る観点を知る。 ●古典にはさまざまな作品があることを知り、古典の仮名遣いにふれる。 ●登場人物の関係や心情に注意して、内容を理解する。 ●漢文訓読の仕方を理解したり、音読したりして、漢文に慣れる。	●『「エシカル」に生きよう』を読み、社会課題と自分の生活とを結びつけて考える。 ●文章全体の構成を確認し、筆者がたどった問題解決の道筋を整理する。 ●文の成分の組み立て、文の成分どうしの関係について理解する。 ●文章の構成を考え、根拠を明確にして、自分の考えを書く。 ●『広告の情報を考える』全体を読み、感想を伝え合う。P 108～P109の課題に取り組む。 ●古典の仮名遣いに注意して川柳を読み、昔話を读んだり聞いたりした経験を話し合い、古典の世界に興味・関心をもつ。 ●歴史的仮名遣いに注意しながら原文を書き写す等して理解を深める。また、『竹取物語』について調べ、絵本などの「かぐや姫」と『竹取物語』の異なる点を文章にまとめたり、話し合ったりして、そのおもしろさを考える。 ●「矛盾」の書き下し文を音読することで漢文に慣れる。また、「矛盾」の盾と矛を売る人がなぜあ る人の質問に答えることができなかったのか考え、説明する。 ●「助長」の書き下し文を音読することで漢文に慣れる。また、苗がなぜ枯れていたのか、説明する。	・講義 ・グループワーク ・発表 ・ワークシート	・発表内容 ・ノートやワークシート等の記入内容や状態 ・定期テスト ・小テスト（漢字等）
	10	昔話と古典 物語の始まり 故事成語				
10 定期試験③（令和8年 10月21日-10月23日）						
11		蜘蛛の糸 河童と蛙 オツベルと象 随筆を書く 言葉の小窓 2 日本語の文字	●わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。 ●詩の構成や展開、表現の効果について考える。 ●場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈する。 ●身近に起きたことや経験したことをまとめて、叙述の仕方を考える。 ●日本語を書き表す文字の特徴を理解する。 ●専門的な事柄などを表す語句の意味をおさえ、文章内容を捉える。 ●相手の話と自分の考えとを比較しながら聞き、その共通点と相違点を踏まえて考えをまとめる。 ●漢字の音と訓についての理解を深める。	●作品を読み、物語のあらすじを捉え、感想を伝え合う。 ●「学びナビ」を確認し、オノマトペの特徴や効果に注意して詩を読み、場面や登場人物の様子が伝わるように朗読する。 ●「学びナビ」を読んで学習内容を整理して、本文を通読し、語り手や登場人物の関係を整理する。また、「まなびリンク」を活用して難解語への理解を深める。 ●読み手をひきつけるような文章の展開を考える。教科書P 171を読み、随筆にふさわしい表現があることを理解したうえで、最も適切な言い回しを意識しながら随筆を書く。 ●『言葉の小窓 2』を読み、内容を確認したあと、P 270～273『日本語の文字』を読み、内容を整理する。 ●「子どもの権利条約」の内容と本文を照らし合わせ、世界における考え方の変化についてまとめる。 ●調べた内容をもとに、スピーチの内容や構成を検討する。その後、スピーチをしたり聞いたりして、自他の内容について共通点や相違点を踏まえながら、テーマについて考えをまとめる。 ●「漢字の音と訓」について理解し、「練習」によって理解の確認を行う。	・講義 ・グループワーク ・発表 ・ワークシート	・発表内容 ・ノートやワークシート等の記入内容や状態 ・定期テスト ・小テスト（漢字等）
	12	子どもの権利 調べた内容を聞く 漢字の広場 3 漢字の音と訓				
12 定期試験④（令和8年 12月9日-12月11日）						
1		言葉がつなが世界遺産／地域から世界へ――ものづくりで未来を変える―― 報告文を整える 文法の小窓 3 単語のいろいろ 発言を結びつけて話し合う 漫画で「物語」を表現する	●事実と意見の関係などについて注意して読み、筆者の考えを捉える。 ●読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整える。 ●自立語と付属語、活用の有無などの、分類の基準について理解する。 ●互いの意見を結びつけて整理しながら話し合い、自分の感想や考えをまとめる。 ●漫画を形づくる要素を整理し、表現の特徴について理解する。	●文章をもとに、「日本の文化に対する世界からの評価」「伝統的な技術の継承や発展」について考えたことを話し合う。 ●「学びナビ」と本文を読み、調べて報告したいテーマを決めて、テーマに関するデータを集める。そして、集めた調査結果を読み取り、書く順序にそって下書きをする。その後、推敲の観点をもとに下書きを読み合い、推敲する。 ●「活用のない付属語」と「活用のある付属語」を読み、内容を理解する。「品詞分類表」によって品詞の全体を把握する。 ●教科書P 231の話し合いの例を参考にして、定義する言葉を決め、意味や文例を考える。その後グループの話し合いを進め、さまざまな意見を整理して言葉の定義をまとめる。 ●『漫画で「物語」を表現する』全体を読み、感想を伝え合う。P 234～P235の課題に取り組む。 ●「熟語の構成」について理解し、「練習」によって理解の確認を行う。 ●それぞれの詩のイメージを想像し、表現技法や工夫を理解する。四つの詩から一つ選び、自分なりの考えをまとめて伝え合う。 ●現在の「私」と「客」の場面の、「客」の心情を理解する。その後「僕」と「エーミール」のチョウに対する考え方の違いを捉え、「エーミール」に対する心情の変化をまとめる。	・講義 ・グループワーク ・発表 ・ワークシート	・発表内容 ・ノートやワークシート等の記入内容や状態 ・定期テスト ・小テスト（漢字等）
	2	漢字の広場 4 熟語の構成 四季の詩 少年の日の思い出	●熟語の構成の基本的な型を知る。 ●表現の効果について、根拠を明確にして考える。 ●行動や心情を表す言葉や語句の文脈上の意味に注意して読み、語彙を豊かにする。 ●語り手に着目して作品を読み、交流を通して自分の考えを確かなものにする			
3 定期試験⑤（令和9年 3月4日-3月6日）						